

会 議 録	
会議の名称	令和3年度第2回清須市地域公共交通会議
開催日時	令和3年12月20日（月） 午後2時から午後3時30分
開催場所	清須市役所南館3階 大会議室
議題	1 開会 2 議事 〔報告事項〕 (1) 清須市地域公共交通計画の評価等結果について (2) コミュニティバスの運行・利用状況概要について 〔協議事項〕 (1) 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案）について (2) コミュニティバスの運行計画見直しに向けた検討について（令和4年10月1日改正） 3 その他 4 閉会
会議資料	会議次第、委員名簿、配席表 〔会議資料〕 資料1 清須市地域公共交通計画の評価等結果 資料2 コミュニティバスの運行・利用状況概要 資料3-1 清須市生活交通確保維持改善計画の概要 資料3-2 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案） 資料3-3 令和3年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価及び地域公共交通計画の評価結果の概要（案） 資料4 コミュニティバスの運行計画見直しに向けた検討について（令和4年10月1日改正）
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数	なし
出席委員	前田委員、山田委員、林委員、柴田委員、加藤（榮）委員、鬼頭委員、加藤（博）委員、山内委員、澤木委員、小川委員、多田委員、小林委員（代理）、大島委員、毛利委員、長谷川委員
欠席委員	佐藤委員、増岡委員、河口委員
出席者（市）	なし
事務局	（企画部企画政策課） 後藤次長兼課長、杉原課長補佐、炭竈企画政策係長、市江主事、八木主事
会議録署名委員	加藤（榮）委員、鬼頭委員
1 開会	

(炭竈企画政策係長)

定刻となりましたので、ただいまから、令和3年度第2回清須市地域公共交通会議を開会します。

私は、企画政策課の炭竈です。よろしく申し上げます。

それでは、開会にあたりまして、前田会長からごあいさつをいただきたいと存じます。

前田会長、よろしく申し上げます。

(前田会長)

皆様、こんにちは。

本日は、令和3年度第2回清須市地域公共交通会議へご出席いただきまして、ありがとうございます。

また、日頃、皆様には本会議の運営等に多大なご理解とご協力をいただいております。

あらためまして、お礼を申し上げます。

さて、本日の会議では、確保維持改善事業の事業評価に加え、来年10月1日に予定しておりますコミュニティバスのルート・ダイヤ改正に向けての協議が中心となります。

皆様にはご意見ご発言を賜りたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

簡単ではございますが、これで私のあいさつに代えさせていただきます。

(炭竈企画政策係長)

ありがとうございます。それでは、本日の会議の出席状況について、ご報告します。

本日の欠席委員は、第1号委員の佐藤委員、第4号委員で愛知県尾張建設事務所維持管理課長の増岡委員、第6号委員の河口委員の3名です。

また、他の公務のため、第5号委員で愛知県バス協会専務理事の小林委員におかれましては栗木様に代理でご出席いただいております。

加えて、事務局といたしまして、次期ルート・ダイヤ改正における、あしがるバスの運行見直し業務に携わっていただいております、株式会社日本海コンサルタントの塩土様にご同席いただいております。

みなさま、どうぞよろしく申し上げます。

それでは、これより議事に入りますが、ここで、事務局からお願いがございます。

当会議の議事録を作成するため、会議でのご発言にあたっては、次の2点についてご協力をお願いいたします。

まず1点目ですが、ご発言にあたっては、必ず挙手の上、会長の指名を受けてください。

2点目ですが、会長の指名を受けた委員様には、係の者がマイクをお持ちいたしますので、その都度、ご自身のお名前を仰っていただいております。発言くださいますよう、お願いいたします。

なお、委員の皆様には、マスクの持参・着用にご協力をお願いしたとこ

ろですが、事務局におきましても、マスクを着用させていただきます。  
それでは、ここからの進行は前田会長にお願いいたします。

## 2 議事〔報告事項〕(1) 清須市地域公共交通計画の評価等結果について (2) コミュニティバスの運行・利用状況概要について

(前田会長)

それでは、ここからは私の方で会議の取り回しをさせていただきます。  
よろしく申し上げます。

まず、はじめに 会議録署名委員を指名したいと思います。

本日の会議の会議録署名委員は、座席順に加藤委員と鬼頭委員にお願い  
したいと思いますので、よろしく申し上げます。

それでは、本日の議事に入ります。

本日の議事につきましては、お手元の次第のとおり、報告事項が2件、  
協議事項が2件です。

まずは次第の順に「報告事項」についての議事を進めます。

次第にある報告事項(1)と(2)は一括して扱うこととしますので、  
まずは該当資料について事務局から説明してください。

(市江主事)

【資料1及び資料2を説明】

(前田会長)

ありがとうございました。

ただいま、事務局から報告がございました。ご意見、ご質問等がござい  
ましたら、挙手をお願いいたします。

(鬼頭委員)

鬼頭です。多分、単純なミスだと思うのですが、資料1の一番下の行の  
後ろの方の参考資料の「参」の字に四角がついているのですが、なんで修  
正されてないのですか。

(市江主事)

失礼いたしました。こちらについては、修正して提出させていただきます。  
す。

(鬼頭委員)

分かりました。

(前田会長)

その他、何かありませんか。

では、ご質問がないようですので、加藤先生に講評をお願いできればと  
思いますがいかがでしょうか。

(加藤副会長)

同時期の令和元年度はどのくらいでしたか。

どこもそうですが、2年度よりは良いですけど元年度よりは悪いですねという話ですが。

(後藤企画部次長兼企画政策課長)

元年度と3年度の比較はさせていただきまして、実際先生が仰られるように、元年度と3年度を比較すると、3年度が超えているところは1か所だけでサクラルートの9月だけはワクチン個別接種の影響で伸びましたが、それ以外は3年度が下回っているという状況です。

(加藤副会長)

どうやって戻していくかは考えなきゃいけないのですが、もともと乗っておられた方が感染拡大によって家にいるとか回数を減らすとかがあって、感染が収まってきたらもう乗らなくて済むのでそのままなのか、人によりますけど出かけることが億劫になってしまったのか、ということがよく言われます。逆に新しく乗ってくれる方は、ワクチン接種とかがあると思うのですが、それは一時的なものなので、新しくどのようにケアしていくか考えなければならぬと思います。今ここでどうするかって話ではないんですが、全国的にお年寄りは今説明した理由が多く、なかなかそういう方は同じ人に呼び掛けても戻らないので、新しい人に呼び掛けるとかをやらなくてはいけないことは大きな課題としてこれからこの会議で皆さんで考えてほしいとお願いしておきたいと思います。

そういった意味で先ほどの元年度比が非常に大事で、2割くらいの減ですか。

(後藤企画部次長兼企画政策課長)

事務局後藤です。一番差がないのは実はオレンジルートで、それでも1割ちょっと、2割弱です。グリーンルートは、もともと令和元年度は過剰になるのではと危惧していたくらい乗っていたのですが、今は落ち着いております。サクラルートは、今の一時的な個別接種で戻っていますが、落ち込みは一番大きいです。ブルールートは、どちらかというところほぼ平行に推移していますが2割減くらいです。先生が仰られたとおり、もともとの利用者が戻っていないことと新規利用者が伸びていないということは元年度比較で十分推測ができます。

(加藤副会長)

やはり、出かけることは楽しいことがいっぱいあるよということをやっていないといけないと思いますので、何か新しいことを考えなければいけないなと思います。

あと、午前中白川町の会議に出ている、そこでも同じような議論でなかなかお年寄りの人が戻らない状況で、出かけることの楽しさを忘れた人がいる一方で、昨日は長野県の高森町に行ったのですが、そこでお祭りみたいなものをやったらものすごい人がいて、出かけることに飢えていたような感じがあって、本当は出かけたが何をしにいくかが分からないという人も多いため、来年度になるとこのまま落ち着けばお祭りとかもできると

思いますので、そういう機会にいろいろ仕掛けていけたらと思います。

(前田会長)

ありがとうございました。その他に、委員さん、よろしいでしょうか。それでは、報告事項については、これで終了します。

## 2 議事〔協議事項〕(1) 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案)について(2) コミュニティバスの運行計画見直しに向けた検討について(令和4年10月1日改正)

(前田会長)

引き続き、「協議事項」に関する議事に移ります。

まずは、次第の順に(1)「令和3年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案)について」を議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

(市江主事)

【資料3を説明】

(前田会長)

それでは、この協議事項について、ご意見やご質問等がありましたら挙手をお願いします。

(山田委員)

4ページの市民調査の結果というところで、大雑把にはいろいろ書いてあるのですが、どういう項目が多く出たか我々には分からないので、そういったことを知らせる方法をとっていただくとありがたいなと思います。

(後藤企画部次長兼企画政策課長)

事務局後藤です。アンケート結果は今年の3月の会議に資料として出してありますので、結果についてはそのときの資料を紐解いていただければと思います。よろしくをお願いします。

(前田会長)

よろしいですか。

(山田委員)

はい。

(山内委員)

愛知運輸支局の山内と申します。この資料自体、独立したものなので、公表されている結果であってもどういうところがポイントで、次のアクトへどのように繋げていくのか、ポイントで構わないので書いていただきたいと思います。

それと、目標や実績が書いてある利用実績のところですが、戻りきって

いないとかそういったことというよりは、もう少し次に繋がってくるような分析があればと思います。資料3-2⑤のところで各ルートごとに分析が書いてあるのですが、そこに主要な施設の利用状況とか書いてくださっていてどういった方が利用してくださっているのか言及がある中で、来年どうしようとしていくかなども追記していただきたいなと思います。例えば、バスロケひとつとっても、お知らせ欄を活用してとかそういったアイデアがある中で実際に活用していただくことで利用していただけるので、そういった取組について来年のアクトの中で知恵を絞っていただきたいと思います。

(後藤企画部次長兼企画政策課長)

事務局後藤です。今ご指摘いただいた点については、後で検討させていただきますと思います。

(加藤副会長)

よく考えたら、この資料の中に一昨年度のことや数字も出ていましたし、それからいろいろなまとめがあるので、とても上手い具合にまとまっていると思います。直前の白川町で言っていたことですが、字が細かくてもっと削らないと読んでもらえない状態でしたので、これ以上加えるのは非常に難しいところで、この程度の要約しかできないのではと思います。

それと、清須の場合は、これをPRしておくとうよいと思うのですが、3月にやったかなと思ったら全てホームページに載っていますので、どうしてもということであれば、このアドレスを小さく書いておいて、これを見てもらえばよいと思います。むしろ、過去の地域公共交通会議の議事録や議事概要だけ公表していることが多いですが、資料も全て載っていて議事録も載っているということは清須は珍しいとは言わないのですが、ずっとやっていてとても良いことだと思います。さりげなくそれもPRしておくとうよいと思います。

後半の話も、さっき私が言った話で、結局既存の利用者ではなく新しい利用者を獲得しないといけないことは明らかなので、そうするとイベントとかある機会にこうやって使ってみませんかという話が出てくるのではと思います。あとは、試しでイベントとかがあるときに無料券を配るとか、昨日行った高森町はもともと日曜日は走っていないのですが、無料で走らせて試しで乗ってみてくださいとかそういうふうにイベントのときに試しでタダで気軽に乗って体験してみてくださいということをイベントと一緒に宣伝するとよく知ってもらえるかなと思います。

ですので、この資料に書くか書かないかは別として、これから必要な情報なので皆さんにも考えていただけたらと思います。

(後藤企画部次長兼企画政策課長)

今のお話の中で、無料デーについては清洲城信長まつりの開催日に1日無料デーを設けていました。ですが、このコロナ禍で去年と今年に関しては、信長まつり自体が中止となりましたので、無料デーの方も実施しておりませんが、そのようなことはコロナが落ち着けばまたやっていきたいと考えております。この2年間いろいろな制約がある中でやってきました

が、今先生からいただいた意見を踏まえまして、新たに考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(加藤副会長)

ちなみに、2年前の無料デーについては、普通の日に比べてどのくらい利用がありましたか。

(後藤企画部次長兼企画政策課長)

最後に実施した令和元年度は台風で本来実施を予定していた日が雨で信長まつりは延期となりましたが、無料デー自体はその日から動かせないので、無料デーはその日に実施し、あまり参考になりませんでした。私が来る前の平成30年度のときは、ちょうどルート・ダイヤ改正のときで、記録的に数字では見ていませんが、改正を先に実施していましたので、結構興味を持たれて乗られていたという報告は記憶にあります。

(加藤副会長)

そうすると、来年度もそのタイミングですか。

(後藤企画部次長兼企画政策課長)

はい。いまのところそのタイミングの予定ですが、ただ平成30年10月の改正に比べると、また後程提案させていただきますが、令和4年10月の改正につきましては、それほど大きな変更はありませんので、通常の無料デーのように利用していただけるのではないかと考えております。

(前田会長)

ありがとうございました。

他に委員さん、よろしいでしょうか。

ご質問も無いようですので、ここでお諮りします。

本件に関しまして、ご承認いただくということよろしいでしょうか。

〔異議なしの声〕

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題(1)を終わります。

(前田会長)

続きまして、協議事項(2)「令和4年10月1日改正予定のコミュニティバスの運行計画見直しに向けた検討について」を議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

(市江主事)

【資料4を説明】

(前田会長)

それでは、この協議事項について、ご意見やご質問等がありましたら挙

手をお願いします。

(小川委員)

西枇杷島警察署交通課長の小川と申します。ルート改正に伴って、危険となるバス停の廃止を検討するということが明記されていますが、非常によいことだと思います。警察としても、交差点から5メートルですとか横断歩道付近などのバス停の移設や廃止をお願いしているところではありますが、是非ともこの機会に危険なバス停や危険と思われるバス停についてはルート・ダイヤ改正のときにどンドン見直していただきたいと思いません。一度既存で決まってしまうと、バス停ありきでなかなか変更が難しいと思いますので、非常によいことが書かれていると思いました。

具体的に把握されている危険なバス停はあるものなのでしょうか教えてください。

(後藤企画部次長兼企画政策課長)

事務局後藤です。今回、廃止を検討しているバス停につきましては、基本的には幅員がないところと利用状況を加味したうえでの廃止を4か所ほど考えております。今、交通課長が仰られるように、もともと危険というバス停は実はあまりなく、いわゆる交差点から5メートルなどといったところは、規制がかかった時点で現地確認をして設置をしておりますので、そのようなバス停はないと認識しております。ただ、今回はバス停が置けないところで、例えば壁にバス停が貼ってある場所がありまして、利用状況を踏まえたうえで廃止をしていきたいと思っております。危険という言葉はちょっと語弊があるかもしれないですけども、幅員がないところを優先的に考え、もう1つは利用状況を加味したうえで廃止してはどうだろうと提案させていただきました。

(加藤副会長)

危険なバス停という話がありましたけれど、12月初めにNHKのおはよう日本で放送があったときに私も出させていただいてお話をしたところですが、国交省が言っている危険なバス停は違っていると私は思っています。もっと危険なところもあるし、全然危険ではないところもあって、杓子定規にして本当にいいのかというところはカットされてしまったんですけど、そこは注意しなければならないところだと思います。ですので清須の場合も、そこに当てはまらないけど実は危険なものが多いのかなということですが、ただそこが利用が多ければ地域の皆さんで話し合ってもらわないと、利用が多いのに無くなってしまい不便になってしまうということが起きるので、注意してほしいと思います。

あと1つ確認ですが、ブルールートは、ヨシヅヤ休憩ですが、清洲駅がヨシヅヤと同じくらい、もしくはそれに近いくらい利用が多いところで、清洲駅そのものが待っている場所がないので待機することができません。そこが課題なのですが、朝というか清洲駅に行かれる方が多い午前中は春日のほうから来てヨシヅヤより手前に清洲駅があるので都合がよいのですが、午後で帰る時間になってくると清洲駅はすぐヨシヅヤで休憩して使えないのでここがどうなのか確認してほしいと思います。



今日は12便を廃止してやめるという話が出たんですけど、私は11便も清洲駅からヨシヅヤではなくて、もっと手前で止めてもいいと思っていますんですけど、そうだとするとヨシヅヤで待ち時間をとるのが不合理で、ちょっと待つのはいいのかもしれないが、12分も待つのがどうなのかなと思ったら、17時54分の清洲駅というのは春日の各地へ名古屋駅を17時に乗ったら帰れることができるダイヤになると考えていました。ただ、もしかするとこの時間帯は渋滞するので結局12分遅れて運行するかもしれないので私が言ったことは意味のないことになるかもしれないですが、知らない人はダイヤを見て利用するか判断するので、考えたほうがいいのかなと思います。

(後藤企画部次長兼企画政策課長)

JR清洲駅は、私が考えておるのは、区画整理が入っておりまして将来的には大きなロータリーができる絵図はできています。それができるのがもうちょっと早い予定でしたが、今回間に合わなかったのが清洲駅のところは全く手をつけていない状態となっています。もう少し早く区画整理が進むと考え方が変わってくるのかなと個人的にはずっと思っています。ですので、今回先生が仰ったことをやるべきかどうかずっと悩んでおったところですが、ブルーについては大きく変えないというところがありましたので、今回は変えられないかなと考えていました。ただ、まだ時間がありますのでどうしたものかと思っています。

(加藤副会長)

とても簡単な改正だと思っていて、簡単なのにやらないのであればこんな議論する必要ないと思います。清洲駅が区画整理するというのはいつのことか知りませんので、そんな先のことを待てる余裕は私はないですし、地域の皆さんもないのではないですか。つまり、これを今変えれば17時台、18時台にスムーズに帰れるダイヤになるはずなのにやらないのは私から見れば春日の方々が損をしたということになると思いました。なのでそこで頭を使わなかったら廃止なのですが、頭を使ったら廃止しなくてもよいのではと思います。

(後藤企画部次長兼企画政策課長)

一度検討させていただきます。

(加藤副会長)

それと、区画整理の話が出ましたが、同僚のある先生に清洲駅の区画整理の話について何か関わっているんですかと聞かれたので、何も関わっていないと答えました。本当にそれでいいのでしょうか。つまり、公共交通のほうでここはどうするか検討せずに勝手にできて使ってと言われても使えないようなものだったら困るということです。

(後藤企画部次長兼企画政策課長)

今の話で、先生に提案していただいた案については、次回3月までに検討させていただきたいと思いますので、それについては保留をかけていた

できればと思います。

それと、お話が出てきたということが、ちょっとよく分からないのですが。

(加藤副会長)

今そのロータリーについてその先生が検討に入っていて、先生もそれについて何か意見とか言っているのか聞かれたので、話も聞いていませんという話をしました。私が常に言っていることですが、はるひ呼吸器病院もそうですが、できてから乗り入るとかダイヤを考えるとか遅いことが多いと思います。典型的な例ですと、刈谷駅南口は待機が全くできないんです。東浦のバスや刈谷のバスもそうですけど、待機ができないためにどこか行ってバス会社さんが土地を借りているんです。そこに待機できればダイヤ調整とかもしやすいのに、どこか待機場所に移動したらその土地代もかかるし、それまでに渋滞したら遅れるとかを考えなきゃいけないので、ちゃんとロータリーの構造をちゃんと見ておく必要があるのではと言っているんです。そこを私は非常に重視していて、これからできるものはこの会議でも見ておかないといけないのではと言っているんです。

(後藤企画部次長兼企画政策課長)

その点については、私も実際図も見てないですし、話があったわけではありませので、区画整理の担当と調整しながらどのような展開になっていくのかご報告させていただきたいと思います。

(前田会長)

ありがとうございました。

他に委員さん、よろしいでしょうか。

ご質問も無いようですので、ここでお諮りします。

本件に関しまして、ご承認いただくということでよろしいでしょうか。

[異議なしの声]

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題を終わります。

### 3 その他

(前田会長)

以上で、本日本日予定されておりました議事は全て終了いたしました。

慎重にご審議いただきありがとうございました。

ここからは、次第の「3 その他」に移ります。

事務局から報告事項がありましたらお願いします。

(市江主事)

事務局から2点ご連絡させていただきます。

本日の報告事項(1)でご説明させていただきました「清須市地域公共

交通計画の評価等結果」につきましては、中部運輸局及び総務省へ送付させていただきます。

また、協議事項（１）でご承認いただきました「令和３年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案）」につきましては、ご指摘いただきました点を修正した後に、愛知運輸支局へ提出させていただきます。

事務局からは以上です。

（前田会長）

最後に、この他のことで、何か委員の皆様からございますか。

（澤木委員）

愛知県交通対策課の澤木と申します。皆さんお疲れ様でした。県のほうから何点か取組の紹介をさせていただきたいと思います。今日お手元にお配りさせていただきましたチラシを見ていただきたいのですが、まず１点目はエコモビリティライフ講演会という講演会の案内のチラシを入れさせていただいたんですけれども、愛知県は車と公共交通、自転車、徒歩など賢く使い分けるライフスタイルのことをエコモビリティライフと呼んでいるんですが、来年１月３１日に伊豆原先生と自転車 YouTuber の愛あむさんを講師にお招きして講演会をやるということで、現在参加者募集をさせていただいておりますので、ご興味ありましたらご参加いただけたらと思います。

２点目ですが、同じく１枚チラシを入れさせていただきましたお出かけをもっと楽しくマイルートでと書かれたチラシですが、こちらは真ん中にありますが、１２月１日から来年の１月３１日までM a a Sの実証実験をやっていますということで、スマホを使って経路検索ができるアプリなんですけれども、鉄道とか路線バスとかコミュバスも目的地を指定するとコミュバスでのルートも検索できるようになっております。あと、カーシェアやシェアサイクルといったものを検索できるということで、アプリは無料でダウンロードできますので試しに使ってみていただければと思います。

３点目は資料は用意していませんのですが、先週終わりました県の議会のほうで昨今燃料が高騰しているというところで、バスとタクシーに対して燃料の上昇分を支援させていただくということで補正予算を計上して議会のほうで議決をいただくことができましたので、タクシーについては個人さんを含めて１台あたり２万５千円、バスは路線バス事業者さんに１台あたり１３万円ほど燃料上昇分として支援させていただくということで予算をつけさせていただいたので、事業者さんには活用していただけたらと思います。

最後に、地域公共交通計画のお話も清須市さんであったと思うのですが、愛知県として県の地域公共交通計画は策定されていなくて、これから作っていくという段階ですけれども、あいち公共交通ビジョンというものが２０１７年３月に策定をしていて、それに基づいて取組を進めてきたんですが、ビジョンは５年間ということで来年の３月に期限が切れますので、新しいビジョンを作っている状況でありまして、ほぼほぼ固まりましたので、この週末１２月２５日から県民の皆様にご公開させていただい

てパブリックコメントを募集するという手続きを考えておりました、パブリックコメントをいただいた後、来年2月に最終取りまとめを行ない、次の交通ビジョンを作るということで進めておりますので、また次回の公共交通会議の場でお時間いただければそういった場でご説明させていただけたらと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

(山内委員)

愛知運輸支局の山内と申します。公共交通あんしん利用ということで1枚とカラー刷りのものが同じような趣旨で作られています。今日の評価の中でもコロナ禍において日常の生活の足としてどうしていくのかというような利用者は減っているし、利用者が減ると公共交通の足としては維持できないし、皆さんの健康やお出かけ機会、市の活性化という意味でも影響が出てくると思います。そういった中でも公共交通機関は運行を続けており、こういうふうに安心して乗れるよう消毒ですとか換気等の取組を含めて安心してお出かけしていただけるように周知させていただきました。

バスのシカクにご用心というチラシをお配りさせていただきましたが、こちらにも危険なバス停のお話もありましたが、それだけではなくバスを利用される方やバス停周辺を歩かれる方について、バスの死角というものにご注意いただいてご利用いただければより安全だと思っておりますので配らせていただきました。

もし、私たちのイベント等いろいろな取組がある中でこういったことについてご説明をということがありましたら、説明に行きますし、そういったときにバスの利用方法ですとか皆さんと一緒に利用促進の1つとして扱っていただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

それと、先生が仰っておられたバスのロータリーやいろいろな検討は大事なことだと思います。バスの乗り換えについて、ご高齢の方もいらっしゃるのので、バスがいないところで待つよりもバスの車内で待って、バスが来たところで乗り換えるとか、そういった意味でバスの居場所ということやタクシーの居場所も大事だと思っておりますので、皆様でよりよい公共交通に向けて知恵を出し合ってくださいませんかということでよろしくお願いいたします。

(前田会長)

ありがとうございます。

その他、よろしいでしょうか。

では、以後の進行は、事務局へとお返ししたいと思います。

よろしくお願いいたします。

#### 4 閉会

(炭竈企画政策係長)

それでは、これもちまして、令和3年度第2回清須市地域公共交通会議を閉会いたします。

本日はご出席いただき、ありがとうございました。

問い合わせ先	企画部 企画政策課 052-400-2911 内線3214
--------	----------------------------------

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 前田 繁一

署名委員 加藤 榮子

署名委員 鬼頭 恒雄